

■王仁公園 再整備と管理・運営の基本方針 R4.3

1)公園の将来像

「健康づくり・スポーツ・子育て機能が充実し、誰もが身近に自然とふれあい憩える公園」

2)取組方針

取組1 市民が健康づくりに取り組める公園

例)ウォーキングイベント、子供向けの走り方教室

取組2 市民がスポーツを楽しめる公園

例)新たなスポーツ施設の誘致、スポーツ教室を開催

取組3 市民の子育てを支援する公園

例)防犯カメラの導入など公園の防犯性を向上、子ども向けの運動や教育プログラムを実施

取組4 市民の憩いの場となる自然豊かな公園

例)樹林地を憩いの場となる疎林へ再整備、ビオトープなどを活用した環境学習プログラムを実施

取組5 多世代・多様な人々が安心して憩える公園

例)園路等公園内の動線のバリアフリー化を推進、情報提供のバリアフリー化を推進



鏡伝池緑地（市民の森）	中の池公園	香里ヶ丘中央公園	東部公園
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none">・花菖蒲やスイレンをはじめ、多様な植物が生育し、良好な緑地景観が形成されている。・花と緑の相談窓口が設置されており、市民の緑に関する相談に対応するとともに、緑化推進・緑化啓発の役割を担っている。 <p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none">・現指定管理者の自主事業により、様々なイベントが実施されており、木製の手作り遊具等も設置されている。・西側には幼児用の遊具が多数設置されており、近隣の幼稚園や保育園等に頻繁に利用されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・花しょうぶが見頃をむかえる時期以外において、見どころとなる新たな植栽景観の創出が求められている。	<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none">・市営の公園で最大面積の運動広場を有する。・中央の樹林地や南側の広場は、近隣住宅等から一定の距離があり、多様な活用が期待できる。 <p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none">・運動広場の利用率は近年 50%程度を推移しており、特に平日の利用率は低調となっている。・月に一度、無料開放日を設定している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・未利用時の運動広場や南側の広場及び樹林地の活用が課題。更に有効活用されるよう、柔軟なルールづくりが必要。	<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none">・香里ヶ丘地区の中心に位置し、周囲には図書館、商業施設、幼稚園、保育所等の様々な施設が点在している。 <p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none">・有料の運動広場を初め、小グラウンドやみどりの広場等は、貴重なオープンスペースとして、様々な利用に供されている。・みどりの広場は、図書館の指定管理者によって、イベント広場として活用されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・小グラウンドや運動広場の更なる有効活用が求められている。・香里ヶ丘地区のにぎわい創出の場となるよう、図書館以外の近隣施設との連携も期待されている。	<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none">・H27 年に供用を開始した、硬式野球場、ドッグラン、市営公園で最大の駐車場等が整備された新しい公園。・広大な芝生広場と市営公園最大級の大型複合遊具を有する。・住宅から離れた立地条件と広大な広場を活かし、市街地の公園や小規模の公園で実施することが難しいイベント等を実施することが可能。 <p>【利用の現状】</p> <ul style="list-style-type: none">・野球場は、市内で唯一の硬式野球を行える施設であり、多数の硬式野球大会の会場として利用され、一時的に駐車場不足になることがある。・春や秋の気候の良い時期は、多数の来園者が訪れ、平日でも 98 台ある駐車場が満車になることがある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・複合遊具より、南側の利用が低調。・ドッグラン内をはじめ、公園全体に日陰が少なく、真夏の来園者数が少ない。